

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

専門科目 文化人類学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

専門科目 (文化人類学 専攻分野)

A 以下の設問に、それぞれ1ページ以内で日本語で答えなさい。(解答欄は2頁～4頁)

問1 文化人類学の歴史において、「トーテミズム (totemism)」はどのように研究されてきたか。ジェームズ・フレイザー (James Frazer)、クロード・レヴィ＝ストロース (Claude Lévi-Strauss)、アルフレッド・ラドクリフ＝ブラウン (Alfred Radcliffe-Brown) の理論を時代順に説明し、トーテミズムという概念が現代でも有効か否か論じなさい。

問2 生業 (subsistence) は、文化人類学においてどのように研究されてきたか。代表的な研究を2つ以上挙げ、それぞれの内容を具体的に説明したうえで、それぞれの理論的な問題点を論じなさい。

問3 あなたの修士論文研究は、文化人類学のどの分野に属するか。自分の研究が属する分野を定義したうえで、その分野の代表的な先行研究を3つ以上挙げて、それらの研究が自分の研究とどのような関係にあるのか、また自分の研究の新しさはどこにあるのか論じなさい。

B 以下の用語、人名、民族名のそれぞれについて3行以内で日本語で説明しなさい。

(解答欄は5頁)

- | | | |
|---------------|-----------------------|------------|
| (1) cult | (2) Arnold van Gennep | (3) racism |
| (4) subaltern | (5) The Zuni | |

* 6～7頁は下書きに使ってよい。

A 問2の解答を、以下に記すこと。

A 問3の解答を、以下に記すこと。

B 以下の各欄に、それぞれの解答を記すこと。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

以下の答案用紙は下書きに使ってよい。

受験記号番号

7 / 7

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.